

ぼらっと

2016年
3月24日発行
65号

発行元 〒020-0541 雫石町千刈田 82-2
雫石町総合福祉センター内
雫石町社会福祉協議会ボランティア活動センター
☎：692-2230/FAX：691-1140
e-mail/shizukuishi-vc@shisha.or.jp
http://www.shisha.or.jp



橋場小学校でキャップハンディ体験を実施！！



個人ボランティアで元学校支援ボランティアの佐々木浩子さん（安庭行政区）を講師にむかえ、3月2日（水）橋場小学校3・4年生の児童7名を対象に、車いす・白杖のキャップハンディ体験が行われました。

車いす体験では、段差の越え方や一人での車いす操作の方法を学習し、実際に学校にあるスロープや段差を使つての体験を行いました。車いす介助の方法では、一人で介助することが難しい場合、協力者をお願いすることの大切さを学びました。

白杖体験では、ホールで練習したあと実際に校内を歩き、階段にも挑戦しました。その際、「あっち」「こっち」という抽象的な指示ではなく、「左、右にあと何歩」など具体的な指示を出すことで、視覚障がい者の方の不安がなくなることを学びました。

児童のみなさんからは、「ハンディのある人の気持ちが分かった！」「自分がケガをして車イスを利用するときに活かしたい！」という感想が出されました。

車いすや白杖を使っている人だけではなく、普段から困っている人を見かけた時に、「どうしましたか？」「大丈夫ですか？」と一言声をかける心配りがとても大切なことや、障がいの度合いなどによっては、人によって出来ることに差があり、対応の方法も変えていく必要があることを教えていただきました。

キャップハンディ体験は、車いすなどの操作方法だけではなく、福祉教育の原点である『豊かな心づくり』として、とても大切な活動です。今後もボランティア活動センターは、皆さんのお手伝いをさせていただきますので、要望等がございましたら、お気軽にご連絡下さい！

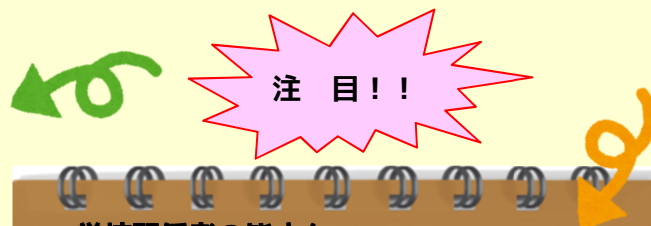


段差がある場合は、ステッピングバーを使うと簡単に越えることができます！

「あと3段だよ！」と具体的な指示があると、白杖を持つお友だちも安心♪



まとめの活動まで、積極的に頑張りました！



—学校関係者の皆さんへ—

ボランティア活動センターでは、キャップハンディ学習のほかにも、講習会の企画、要望に合わせた講師の紹介などのお手伝いをします！！

「こんなことをやってみたい！」「こんな講師を紹介して欲しい！」などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

照会先：雫石町社会福祉協議会
ボランティア活動センター
☎：692-2230

ボランティア団体意見交換会を開催！

2月4日（木）に『ボランティア団体意見交換会』が福祉センターで開催されました。

今回は、昨年度までの会議形式ではなく、ふれあいサロンでも人気のレクリエーションを行ってからグループワーク形式で、次のテーマについて参加者全員から意見を出し合っていました。

- ①皆さんの団体で、自由に使えるお金がたくさんあったら何をしますか？
- ②あなたが20歳若かったら、どんなボランティア団体を立ち上げてみたいですか？
- ③あなたが20歳若く、今のボランティア団体にお金がたくさんあったら何をしますか？
- ④自分のグループの悩みや相談ごとは？グループの皆さんで解決策を考えましょう！！

テーマ④では、どのグループからも「高齢化」「資金不足」などが挙げられましたが、その課題についての解決策もグループで話し合わせ、「世代間交流を増やし、周りとの関わりを密にする」「学生に様々なボランティア体験に参加してもらおう」「助成金申請」「インターネットを通して、不特定多数の人に財源提供・協力を求める」など、これからのボランティア活動を継続していくためのヒントを得られたようでした！

お忙しいなか参加していただいた皆さん、ありがとうございました！！



↑ ジェスチャーゲーム



↑ 他グループの話し合い内容は特に興味深かったようです！ ↑



ボランティア活動助成金情報



みずほ教育福祉財団「老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業」

助成対象

- ・登録ボランティアスタッフ数：10人～50人程度
- ・グループ結成以来の活動実績：2年以上
- ・グループ名義の金融機関口座を保有し、規約（会則）・会計報告書類が整備されていること
- ・本助成を過去3年以内（平成25年度以降）に受けていないこと

助成対象となる活動内容および使途（例）

- ・高齢者を対象とした生活支援サービス：食事サービス、住宅補修、清掃等の活動に必要な用具、機器等
- ・高齢者と他世代との交流を図る活動：幼児・児童との交流活動・伝統文化継承活動に必要な用具、機器等
- ・高齢者による、地域環境改善につながる活動：地域清掃、緑地整備、パトロール等の活動に必要な用具等
- ・レクリエーションを通じて高齢者の生活を豊かにする活動：レクに必要な運動用具、楽器、機器等

助成額・〆切

- ・1グループ10万円を上限とし、平成28年5月31日（火）必着

助成金に関する問合せ先

- ・栗石町社会福祉協議会ボランティア活動センター ☎：692-2230